

福井市美山町朝谷からの植物化石2点

安野 敏勝*

Two megaplant remains from Asadani, Miyama-cho, Fukui City, Fukui Prefecture, Japan

Toshikatsu YASUNO*

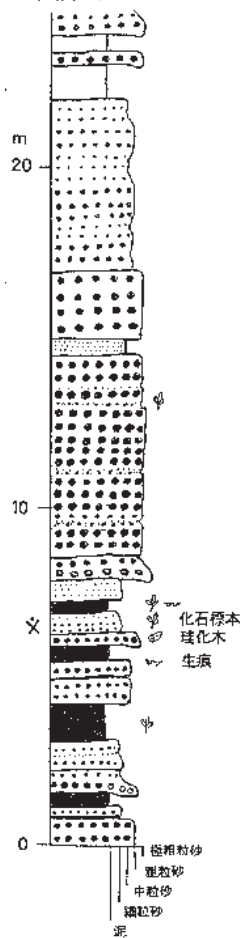
要 旨

福井市美山町朝谷の白亜紀前期手取層群境寺互層から得られた植物化石標本2点（イチョウ目イチョウモドキ属およびベネチテス目アミメソテツ属）を紹介する。葉体は小枝あるいは幹についている。

キーワード：白亜紀，手取層群，イチョウモドキ属，アミメソテツ属

福井市朝谷地区の手取層群からは古くから植物化石が産出することが知られている(前田, 1961ほか)。最近貝類化石などが産出し、その時代が白亜紀前期の石徹白期であると指適された(安野, 2004, 2005)。この後、朝谷南東部の県道西側の採石場から被子植物の可能性があるものを含む植物化石を多数採集した。ほぼイチョウモドキ属の分離葉片だけが密集した化石層の存在や、葉柄部の肥厚などから、本属の落葉性や化石が落葉の季節に堆積したことがわかる。今夏以後に、極めて保存状態

が良好な本報の化石標本2点が得られた。化石産地は、現在では当初の露頭は残っていないが、化石の産出層準はひとまず記録することができた(第1図)。これらの標本と珪化木は、今後福井県立恐竜博物館にて詳しい研究が行われる予定である。化石採



第1図 化石産地の地質柱状図。化石は下部のほぼ同層準の中粒砂岩から産出した。イチョウモドキ属化石がやや下位から産出した。

集に快諾をいただいた足羽砂利ユタカ運輸株式会社に感謝いたします。

文 献

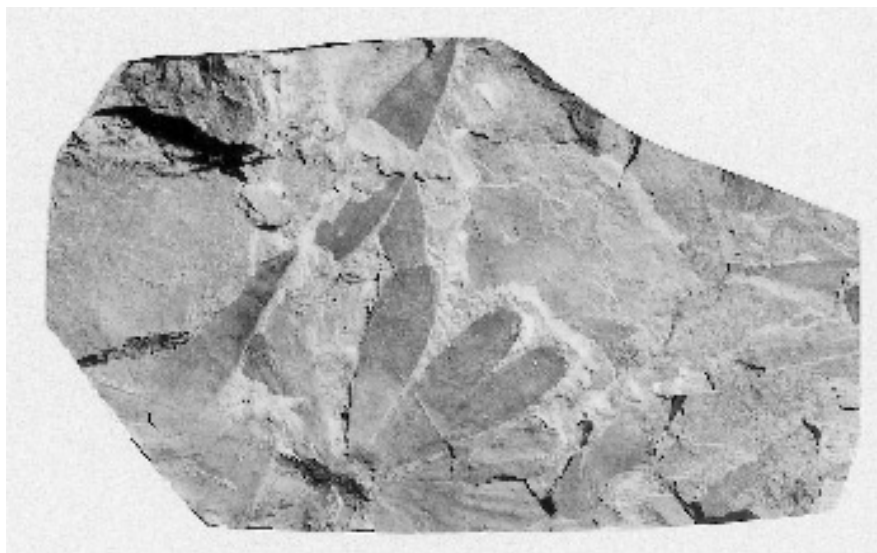
- 石川県教育委員会, 1978, 手取川流域の手取統珪化木産地調査報告書. 301p.
- 前田四朗, 1961, 手取層群の地史学的研究. 千葉大学文理学部紀要, 3, 369-425.
- 白峰村教育委員会, 2000, 石川県白峰村桑島化石壁の古生物-下部白亜系手取層群桑島層の化石-. 277p.
- 安野敏勝, 2004, 福井県美山町の手取層群より脊椎動物化石の産出. 福井市自然史博研報, no.51, 1-4.
- 安野敏勝, 2005, 福井県美山町の手取層群産の化石について(II). 福井市自然史博研報, no.52, 29-41.

Two megaplant remains from Asadani, Miyama-cho, Fukui City, Fukui Prefecture, Japan
Toshikatsu YASUNO

Abstract

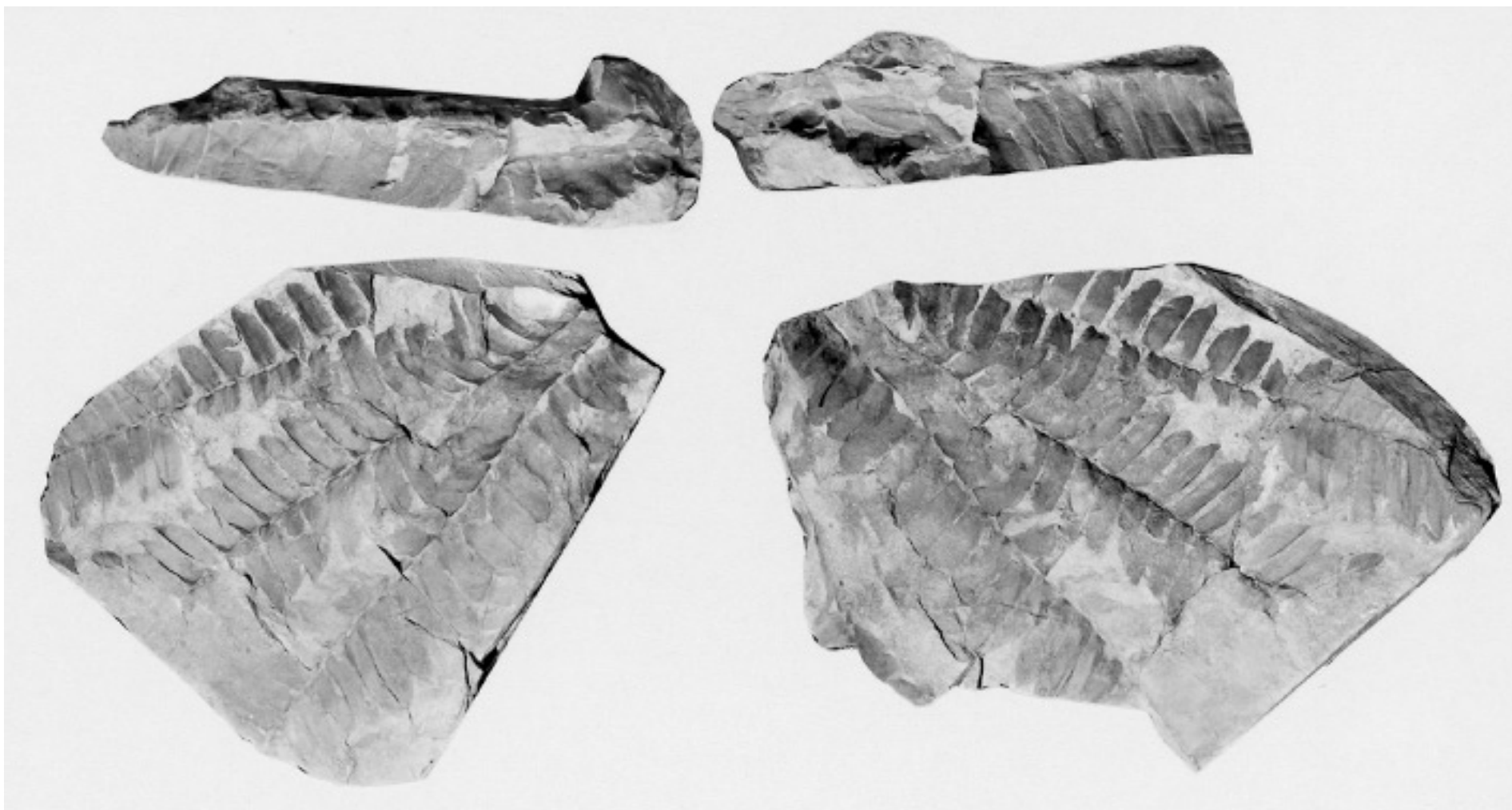
Two megaplant remains were discovered from the Cretaceous Sakaidera Formation of the Tetori Group at Asadani, Miyama-cho, Fukui City. They are *Ginkgoidium nathorstii* YOKOYAMA and *Dictyozamites* sp. showing growth of some reaves from each tree trunk or short branch.

Key word: Cretaceous, Tetori Group, Ginkgoidium, Dictyozamites



第2図 イチョウモドキ属 (*Ginkgoidium nathorstii* YOKOYAMA) の化石 (縮尺: 約0.4倍)。短枝らしきものの先端から単葉型を混えた複葉型の葉体が放射状に広がる。このような生態を示す化石は、石川県の手取層群産の種子をつけた標本が唯一であった。

*福井県立高志高等学校 〒910-0854 福井市御幸2丁目25番8号
*Fukui Senior High School 2-25-8 Miyuki, Fukui City, Fukui 910-0854, Japan



第3図 アミメソテツ属(*Dictyozamites* sp.)の化石。一部分を載せていないが、これらの標本は復元すると三次元的に連続する同一個体である。左右はそれぞれ雌型と雄型を示す。上図(縮尺:約0.4倍)の中央部に、炭化した材部が保存され、この部分が幹の一部である可能性を示す。羽状葉片は葉軸の付け根から発達している。下図(縮尺:約0.3倍)の葉軸は、中央部に収束し、上図標本の一部とつながる。他地域の手取層群からはこのような生態を示す標本の産出報告はなく、本標本の葉脈系は既述されている本属の化石とは多少異なる。